

3 オタワ英連邦經濟會議

409 昭和7年6月28日 斎藤外務大臣より
在カナダ徳川(家達)公使宛(電報)

オタワ英連邦經濟會議における我が国通商の
維持・進展と關係ある諸問題の成行きにつき
報告方訓令

本省 6月28日後8時30分発

第一八號

来ルベキ「オタワ」經濟會議ハ其結果如何ニ依テハ英本國
及各英領地相互間ノ經濟政策ニ重大ナル變革ヲ招来スベキ
處我國ト英帝國トノ貿易關係ハ昭和六年英帝國ヘノ輸出二
億八千万円ニテ我輸出總額ノ二割五分弱ニ当リ輸入ハ三億
七千万円ニテ總輸入ノ三割ニ達スルヲ以テ我對外通商上ヨ
リスルモ本會議ノ重要視スベキハ言ヲ俟タズ然ルニ現下ノ
經濟不況ガ最近愈深刻ヲ加ヘ又英本國ガ昨年来其ノ自由貿
易主義ヲ拋棄セル等ノ事情アリ為ニ特惠關稅ノ拡大其ノ他
ニ依ル英帝國內貿易促進問題ハ前回ノ倫敦會議ニ比シ具体
化ノ可能性一層加ハレル様思考セラル(現ニ日濠通商條約

條約改訂問題ノ成行

- (三)關稅以外ノ英帝國內貿易促進方法
- (四)英帝國內ノ産業、金融、海運協調問題
- (五)「コンゴ」盆地條約改訂問題
- (六)會議ニ關聯スル關係業者ノ運動(「ランカシャー」ノ綿
業團體ハ代表ヲ派遣シテ加奈陀同業者ト協商スベシト傳
ヘラル)

410 昭和7年7月3日 在英国沢田臨時代理大使より
斎藤外務大臣宛

オタワ英連邦經濟會議の開催経緯および同會
議に対する英國の準備状況などにつき報告

普通第二四〇號 (7月27日接受)

昭和七年七月三日

在 英

臨時代理大使 澤田 廉三〔印〕

外務大臣子爵 齋藤 實殿

英本國ニ於ケル「オタワ」經濟會議ニ對スル準備

其ノ他ニ關シ報告ノ件

問題ニ付濠洲政府ハ「オタワ」會議ノ終了迄之ガ具体的商
議ノ延期ヲ希望シオレリ)就テハ貴官ハ今次會議中直接間
接我國通商ノ維持進展ト關係アル諸問題ノ成行ニ付テハ篤
ト御注意ノ上隨時報告アリ度ク御參考迄ニ我方利害關係事
項中重要ナルモノヲ列記スレバ左ノ通

一、英本國ト自治領及屬領間並自治領相互間ノ特惠關稅問
題

参考

(イ)英本國ノ今春來設定セル關稅ハ差当リ英領地產品ニ適
用ナキ處今次會議ニ於テハ右程度ノ特惠ヲ存續スルニ
止ムルヤ或ハ英領地產品ニモ新ニ右關稅ヲ賦課スル代
リニ外國品ニ對シテハ現在以上ノ關稅ヲ課スルコト、
ナルヤハ我方ノ重要視スル所ナリ

(ロ)印度ニ於ケル綿糸布特惠關稅ニ對シテハ我方ハ日印通
商條約第一條違反トシテ抗議ヲ繼續シオレリ

(三)各自治領ノ通商條約ノ締結又ハ改廢問題

参考

(イ)濠洲及南阿トハ通商條約締結問題懸案トナリオレリ

(ロ)加奈陀ノ對外通商政策特ニ日、佛、伯刺西爾トノ通商

英帝國內經濟關係相互増進策等考究ノ目的ヲ以テ來ル七月
「オタワ」ニ開催ノ管ナル經濟會議ハ英本國ニトリテモ目
下ノ經濟不況ニ直面シ其ノ對内外重要經濟政策建直問題ト
密接ノ關係ヲ有スル次第ニテモアリ國ノ上下ヲ舉ケテ之カ
準備ニ汲々タル有様ナルカ今御參考迄ニ左記本件今日迄ノ
經緯概略報告ス

記

一、一九三〇年十一月一日ヨリ十二月十四日迄倫敦ニ開催
セラレタル第六回英帝國會議ニ於テハ時恰モ世界的經濟
不況ノ益甚シカラントスル折柄ニテモアリ經濟問題殊ニ
帝國內相互貿易促進問題ヲ中心ニ英帝國內特惠關稅政策
ノ採擇、主要生産品ニ對スル割當制度、輸入局ノ設定、
大量購買制度、生産品ノ直接交換、工業家相互間取極ノ
獎勵、帝國內經濟協議機關ノ改善等諸問題等ニ付意見ノ
交換アリタルモ何等具體的決定ヲ見ルニ至ラス結局ハ帝
國內相互間貿易促進ノ緊要ヲ認メ之カ實行手段考究ノ爲
一年以内ニ更ニ「オタワ」ニ會議ヲ開催シ討議ヲ續行ス
ルコトトナリタリ

二、爾來英本國ハ勿論自治領其他關係屬領ニ於テモ只管本

件會議ニ對スル準備對策ニ怠リナカリシカ偶々濠洲及「ニュージールランド」兩國ニ於ケル内政上ノ都合ニ依リ會議開催ヲ一年延期シ一九三二年中ニ開催スルコトナリ其ノ旨一九三一年六月各關係自治領政府ヨリ發表セラレタリ當時世界ノ財政經濟狀態ハ益々惡化シ就中英本國ニ在リテハ同年七月發表セラレタル所謂「メイ」ノ財政報告書ニ端ヲ發シ豫算ノ衡平通商ノ均衡等財政經濟建直シノ聲囂ヲトシテ起リ之カ爲八月遂ニ勞働黨内閣ニ代リ國民内閣ノ成立ヲ見ルニ至リタルカ如此ニシテ「オタワ」經濟會議ニ對スル一般國民ノ希待ハ益々重キヲ加フルニ至レリ即チ十月十七日議會解散直後「マクドナルド」首相ノ發シタル聲明中ニモ「今ヤ時局ハ非常ノ緊急ノ場合ト謂フヘク之カ救済ノ爲ニハ政府ハ宜敷舉國一致ノ要アリ例ハ關稅問題ノ考究、輸出ノ増進輸入ノ制限通商條約ノ改訂自治領トノ間ニ於ケル相互經濟關係ノ増進調整等各種問題ニ付其ノ必要ト認ムル所有手段ヲ執リ得ル行動ノ自由ヲ有セサルヘカラス」ト高唱シ又保守黨首領「ボールドウィン」モ自黨員ニ發シタル選舉聲明書中其ノ抱懷スル政策ノ一端ヲ揭ケタル中ニ英帝國內經濟相

適用無キコトヲ定メ居リ以テ他日英本國生産品カ此等自治領等ニ輸入セラルル場合ノ特惠獲得ノ礎地ニ備ヘツツアリ

(ロ)一九三二年五月十二日公布セラレタル小麥法ハ農村救済ノ爲英本國內生産小麥ノ價格ヲ維持シ且市場ノ確保ノ目的ノ爲製粉業者ヲシテ義務的ニ一定量ノ英本國內生産原料ヲ使用セシムルモノナル處本件法令成立ニ至ル迄ノ經緯ニ顧ルモ他日自治領生産品ニモ之ヲ適用シ結局外國輸入品防遏ノ措置ヲ講スルノ前提タルコト疑ヲ容レサル所ナリ

右ノ外最近英本國ニ於ケル經濟施設中「オタワ」會議ヲ考量シ帝國內經濟提携ヲ容易ナラシムル爲メ措置セラレタルモノ少カラス對外通商政策ノ如キモ同會議ノ結果ヲ俟テ最終的決定ヲナサントスルモノナルコトハ客年十二月四日大藏大臣カ「ニューポート」商業會議所會合ノ席上ニ於テ「他國ノ希望アル場合ニハ何時ニテモ關稅問題ニ付友好的商議開始ノ準備アルモ明年七月開催ノ「オタワ」經濟會議後ニ非レハ何等決定的取極ヲ締結スル能ハサル」旨ヲ述ヘタルニ見ルモ明カナル所ニシテ最近六月

互提携ノ必要ヲ力說シ其ノ他ノ政黨モ直接間接「オタワ」會議ニ言及セサルハ無ク殊ニ同年十月十日新議會開院式ニ於ケル皇帝ノ勅語中「内政問題トシテハ特ニ印度圓卓會議及「オタワ」經濟會議ノ成功ヲ衷心ヨリ祈念シ確信スル」旨ヲ宣セラレタルカ如キ以テ如何ニ本件會議カ英國上下ヲ通シ重要視セラレツツアルカヲ知ルニ足ルヘシ

三、英國國民政府ハ「オタワ」經濟會議ノ重要性ニ鑑ミ其ノ成立後間モ無ク政府部内ニ特別委員會ヲ設ケ之カ對策議題等ニ付銳意研究調査ヲ進ムルト共ニ一方民間各方面トモ常ニ十分ナル連絡ヲ保チ萬遺算無キヲ期シツツアル次第ナルカ之ト同時ニ英本國自治領其ノ他殖民地間ノ利害關係ヲ調整シ以テ會議ノ成功ヲ期スル爲本國內ニ於ケル法令施設ニ付テモ極メテ周到ナル注意ヲ拂ヒツツアリ(イ)一九三一年十一月ノ過當輸入關稅法及同十二月ノ園藝品過當輸入關稅法ハ英帝國內生産品ノ輸入ニ對シテハ之ヲ適用セサルコトナリ居リ又一九三二年二月二拾五日ノ輸入關稅法ニ於テモ殖民地及保護領生産品ニ適用無ク且自治領生産品ニ對シテハ本年十一月一日迄ハ

二十三日「ボールドウィン」樞相モ下院ニ於テ同趣旨ノコトヲ述ヘ居レリ

四、會議ニ於テ如何ナル事項カ審議セラルルヤハ招請國タル「カナダ」政府ノ定ムヘキ所ニシテ未タ正式ノ發表ヲ見サルモ六月十六日下院ニ於テ自治領大臣「トーマス」氏ハ本件ニ關聯シ大要左ノ如キ政府ノ大體方針ヲ披瀝セリ

未曾有ノ經濟難局ニ際シ經濟問題ノミノ審議ヲ目的トスル英帝國會議ノ開催セラルルコトハ今回ヲ以テ嚆矢トシ從テ之ニ對スル上下ノ責任モ極メテ大ナルモノアリ會議第一ノ目的ハ今日ヨリ以上ノ自由貿易ノ實現ヲ企圖スルコトニ在リ關稅政策ニ依リ保護セラルル英本國內ノ工業及農業ノ利益ト自治領内第二工業保護問題トヲ如何ニ調和セシムヘキカハ極メテ困難ナル事業ナルヘキモ之カ調整方法ノ發見ハ必シモ不可能事ニ非ルヲ確信ス

會議議題ハ勿論招請國タル「カナダ」政府ノ定ムヘキ所ナルモ其ノ大綱ハ第一ハ財政問題ヲモ包含スル通商貿易問題タルヘシ英本國政府ハ英帝國內生産品ニ對シ

新輸入税免除ノ方法ヲ講シ關係屬領政府ニ對シテハ極メテ良好ナル影響ヲ與ヘツツアリ第二ノ問題ハ英帝國内生産品ノ合理化ニシテ右ノ外議題ト豫想セラルルモノニハ通貨政策問題會議續行ノ爲ノ常設機關設置問題及移民問題等ヲ舉クルコトヲ得ヘキモ未タ確定シタル次第ニ非ス云々

又同日樞相「ボールドウキン」氏モ下院ニ於テ本會議ニ對スル抱負ヲ述ヘタルカ其ノ要旨ハ

英帝國內各國ハ今ヤ一層密接ナル關係ヲ結フカ然ラサレハ分離ノ外無キ重大ナル岐路ニ際會セリ

英帝國全體ノ利益増進ハ御互ニ帝國內販路擴張ニ努力スルコトニ在リ外國品排除ノ結果ハ帝國內生産品相互間ノ競争ヲ惹起スルニ至ルヘク從テ茲ニ利害ノ均衡ヲ計ルノ必要アリ「オタワ」會議ニ於テハ相互貿易ノ障害除去ニ力ヲ致スコト肝要ナリ

英本國ノ政策ハ輸入税制度ニテモ明カナルカ如ク帝國内相互自由貿易ノ確定ニ近キモノナリ通貨政策問題ニ付テハ自治領間夫々異ル意見ノ存在スヘキモ兎ニ角討議ノ題目トナルヘク英本國トシテハ卸賣物價ノ昂騰ハ

前途ハ相當難關ノ横ハルモノアリト謂フヘシ

如上ノ事情モアリ英國政府ニ於テハ同會議ニ對スル代表ニ付テハ夙ニ慎重ノ考量ヲ加ヘ第一流ノ人物ヲ以テ之ニ充當スルコトトナリタルカ今日迄ノ處内定セル代表者ハ左ノ如シ

政府側代表

自治領大臣 「トーマス」

殖民大臣 「カンリッフ、リスター」

商務大臣 「ランシマン」

樞相 「ボールドウキン」

大藏大臣 「チェムバーレン」

陸軍大臣 「ヘイルシヤム」

外ニ農務省代表者一名

民間顧問

Sir Gilbert Vyle

Lord Weit

Sir Alan Anderson

以上三氏英帝國貿易局總會英國部委員會ノ推薦セルモノニシテ夫々英國商業會議所、英國産業聯合會及英本

兎モ角小賣相場ノ吊上ハ欲セサル所ナリ今日ノ狀態ノ存スル限り金本位ニ復歸スルコトナカルヘク對外爲替相場ノ上騰モ望マシキコトニ非ス云々

ト云フニ在リ具體的問題ハ別トシテ大體ノ方針ハ以上二相ノ演說ニ於テ之ヲ窺知スルニ足ルモノアリ

五、前述ノ如ク來ルヘキ「オタワ」會議ニ對シテハ英國上下一般ノ希待ハ極メテ大ナルモノアリト雖モ他方會議ノ事業ハ決シテ容易ナラサルモノアリ即チ帝國內相互間ノ利害關係ハ關稅問題ニ於テモ小麥割當制度ノ如キニ於テモ或ハ通貨政策ニ於テモ必シモ一致セサルモノ少ナカラス之カ調整甚タ困難ナルモノアル外帝國內相互貿易提携ノ結果ハ自然外國品排除トナリ外國ヨリ報復手段ヲ以テ酬ヒラルル虞アルノミナラス通商條約トノ關係モアリ其ノ對外關係ニ於テモ甚タ複雑ナルモノアリ殊ニ英本國ト愛蘭トノ間ニハ今春來忠順誓約ノ廢棄問題及土地年金支拂停止問題ヲ中心ニ紛爭次第ニ擴大シ遂ニ英國政府ハ愛蘭側カ今日ノ如キ態度ヲ持スル限り「オタワ」會議ニ於テ同國代表ト交渉ヲ爲ス意嚮無キ旨ヲ聲明スルニ至リ今日尙解決ノ見込モ無キ有様ナルヲ以テ「オタワ」會議ノ

國航運業支會ヲ代表ス

Mr. J. Bromley

Mr. Walter Citrine

以上勞働組合總會推薦

Sir Edward Davison

殖民地貿易關係顧問

Sir Douglas Newton

農業問題顧問

本信寫送付先 カナダ カルカタ シドニー ケープタウン

ウ

411

昭和7年7月12日

在カナダ徳川公使より
内田外務大臣宛(電報)

オタワ英連邦經濟會議の議題公表について

別電

七月十二日發在カナダ徳川公使より内田外務

大臣宛第七〇号

右公表議題

オタワ 7月12日後發
本省 7月13日前着

第六九號

英帝國經濟會議ノ議題ハ當國政府ニ於テ關係政府ト協議シ
取纏中ナリシカ當國政府ハ七月十一日夜之ヲ公表シタリ關
係各政府ヨリ同時ニ公表シタルモノナリト云フ公表ハ項目
ヲ簡單ニ列記セルモノニシテ別電ノ通
別電ヲ除キ英、「シドニー」「ケープタウン」「カルカッタ」
ニ轉電セリ

(別電)

オタワ 7月12日後発
本省 7月13日前着

第七〇號

A、一般貿易關係

一、英帝國內貿易ニ關係アル通商及關稅政策ノ審議

a、互惠的ニ關係アル通商及關稅政策ノ審議

a、互惠的特惠關稅主義ヲ承認スルコト

b、現行及今後特惠關稅ヲ英帝國內一般ニ適用スルコト

c、外國ニ與ヘ居ル關稅上ノ利益ヲ英帝國內ノ他ノ部分

ニモ及ホスコト

412 昭和7年7月22日

在カナダ徳川公使より
内田外務大臣宛(電報)

オタワ英連邦經濟會議開会式における各国代

表の演説について

オタワ 7月22日後発
本省 7月23日後着

第七三號

往電第七一號ニ關シ

(一)「ベネット」首相ハ加奈陀ノ案トシテ大體左ノ提案ヲ爲
シ各代表ヨリ主義上之ニ賛意ヲ表シタリ

(i)加奈陀ハ英國品無稅輸入ノ範圍ヲ擴張シ(ii)英國品ニ對
スル現行特惠ヲ維持シ(iii)加奈陀産業ヲ害セサル特定英國
品ニ對スル特惠ヲ擴張スヘク之ニ對シ(iv)英國側ニ於テ現
行特惠ヲ維持シ(v)天然及加工品ニ對スル特惠ノ有效ナル
擴張ヲ爲サム事ヲ求ム

右ハ英國ニ對スル提案ナルモ主義上右ト同一ノ提案ヲ他
ノ諸領ニ對シテモ爲スモノナリ尙通貨問題ニ關シ國際會
議ニ於ケル基礎ト爲スヘキ案若ハ差當リ實行シ得キ案
ヲ決定スル爲委員會ヲ設クル事

d、特惠稅率ヲ享クルニ必要ナル empire content (商
品ノ含有スル英帝國的原料及勞力)ノ割合ヲ決定ス
ルコト

e、英帝國內ノ關係ニ於ケル輸出補助金及不當廉賣課稅
ニ、外國ニ對スル通商政策

a、外國ニ對シテ與フル通商上ノ利益ト英帝國內ノ特惠
トノ關係

b、英帝國內ニ於ケル地方的特惠關稅及輸入「クオー
タ」制度發達ノ見地ヨリ見タル最惠國待遇約款意義
解釋

三、英帝國內ノ協力實現方法

現存期間ノ債權等、産業協力委員會報告書ノ審查、交通
通信問題、research 及規格統一問題

B、通貨及金融問題

英帝國內各種通貨及貨幣本位ノ相互關係ノ審查、物價
ノ恢復及爲替相場安定策

C、通商協定ノ商議

~~~~~

(二)各代表ハ何レモ一般列國ノ繁榮無クシテ英帝國ノ繁榮ヲ  
期シ得サル事並ニ英帝國內ノ經濟的結合ハ世界ノ景氣回  
復ヲ促進スヘキモノナリトノ趣旨ヲ高調シタルカ此ノ點  
ニ關シ「ベネット」首相ハ加奈陀カ英帝國ノ經濟的結合  
ニ協力スルハ之ニ依リ世界市場ニ對スル加奈陀ノ一層大  
ナル進出ヲ期スルカ爲ニ外ナラス故ニ今回決定セントス  
ル特惠ニ關スル協定ハ英帝國ノ各部カ各自外國ト通商協  
定ヲ取り結ヒ以テ世界貿易ニ於ケル其ノ地位ノ擴張ヲ可  
能ナラシムル餘地ヲ存スルモノタルコトヲ必要トスト述  
ヘ「ボールドウィン」樞相ハ一步ヲ進メテ英帝國特惠制  
度ハ帝國內ノ關稅ヲ低下スルカ或ハ外國ニ對スル關稅ヲ  
引上クル事ニ依リ實現スヘキモノナルカ一般列國ノ繁榮  
無クシテ英帝國ノ繁榮ヲ期シ得サルニ依リ特惠制度ハナ  
ル可ク後者ヲ避ケテ前者ニ依リ實現ス可キモノト認ムト  
述ヘ又世界の不況ノ最モ重大ナル原因トシテ物價ノ下落  
及之ニ伴フ生産及消費ノ世界的減退ヲ舉ゲ今次會議ハ物  
價回復カ世界の景氣回復ノ必要條件ナル事ヲ認定シ之ニ  
關シテ意見ノ交換ヲ爲サン事ヲ希望シ右ハ英帝國限リニ  
テ實現シ得キニ非ス英國ハ物價回復ニ關スル國際的方

策ニ對シ凡ユル協力ヲ爲ス方針ナリト述ヘ尙右ニ關シテハ不當不規則ナル「クオート」制度其ノ他ノ輸入制限等通商上ノ障害ヲ撤去シ賠償及戰債問題ヲ解決シ租税利子等國民負擔ノ輕減ヲ必要トスル旨ヲ述ヘタリ濠洲代表ハ世界的不況回復策トシテ通貨問題ノ重要ナルヲ高調シ新西蘭代表ハ特惠關稅ト共ニ更ニ進テ一層直接的ナル「クオート」制度ノ採用ヲ重要視スル意見ヲ述ヘ南阿代表ハ南阿ハ既ニ廣範圍ノ特惠ヲ英國其ノ他ニ與ヘ居リ同國ハ英帝國中英國ニ對シ輸入超過ヲ示ス唯一ノ國ニシテ此ノ上特惠ノ範圍ヲ擴張シ得可キ餘地ヲ發見スルニ苦シムモ尙出來得ル限り協力スル精神ナル旨ヲ述ヘタリ

(三)同日午後ノ會議ニ於テ差當リ左ノ五委員會設置セラレタリ

英帝國內貿易振興委員會、關稅委員會、諸外國トノ通商關係委員會貨幣金融委員會、經濟的協力委員會

英、「シドニー」、甲谷陀、「ケープタウン」ニ轉電シ、米、晚香坡ニ暗送セリ

413 昭和7年7月23日 阿部(房次郎)大日本紡績連合會委員長より 武富通商局長宛

インドでの日本綿布への関税増徴問題につき  
オタワ英連邦經濟會議においても配慮方要請  
について

昭和七年七月廿三日  
大日本紡績聯合會  
委員長 阿部 房次郎〔印〕

外務省 武富通商局長殿

拜啓陳者印度關稅問題ニ就テハ多大ノ配慮ヲ忝シ候段奉深謝候

印度關稅問題トオタワニ於テ目下開催中ノ英帝國經濟會議トハ重大ナル關係有之哉ニ被存候ニ付松平大使並ニ德川公使宛別紙ノ通り打電仕候ニ付何卒御承知被下度尙若シ御省ヨリモ右大公使ニ御配慮方御訓電被下候ハハ仕合ト奉存候  
先ハ御依頼旁申上度如此御座候  
敬 具

(別紙)

松平特命全權大使  
德川特命全權公使 宛七月廿三日發電

目下オタワニ於テ開催中ノ英帝國經濟會議ニ於テ特惠關稅問題討議セラル、趣ノ處其決議ノ内容ハ印度ニ於ケル日本綿糸關稅ニ最モ密接ナル關係アリ印度政府ハ明年三月改正ノ筈ナル同國關稅問題ニ關シ目下調査委員ヲ設ケ調査中ナルガ殊ニ最近日本爲替下落ヲ理由トシ日本綿糸布ニ對シ關稅附加稅ヲ即時徵收スベシトノ説行ハレ印度政府ノ態度不明ノ折柄ニツキ此際オタワ會議ニ就テハ特ニ右事情御考慮ノ上適當ナル御配慮ノ程伏シテ冀フ

414 昭和7年8月5日 在カナダ德川公使より 内田外務大臣宛(電報)

英連邦各国間における個別の特惠関税設定問題の審議進捗状況について

オタワ 8月5日後発  
本省 8月6日前着

十 雜 件

第八四號

英帝國經濟會議各委員會ノ審議ハ相當進捗シツアル趣ナ

ルカ特惠稅率ニ關スル交渉ハ委員會ニ於ケルヨリモ寧ロ英國ト諸自治領及自治領代表相互間ニ個別的ニ行ハレ居リ(英國ト愛蘭ハ忠順誓約及年金問題アル爲未タ直接交渉行ハレ居ラサルヤニ傳ヘラル)英國濠洲間及英國「ニュージーランド」間ノ交渉ハ相當進捗シツアリト傳ヘラルル處加奈陀ハ八月四日英國ニ對シ特惠ヲ與ヘ得ヘキ品目約二百(鐵、鎮鏢、無煙炭、皮革類、藥品、自動車、電氣機械部分品等ノ外或ル種ノ織物ヲ含ム)ヲ掲ケ其ノ代償トシテ銅、亞鉛等ノ鑛産、木材、小麥、家畜獸肉及酪農品、野菜ノ外魚類ヲ含ム數種品目ニ付英國側ノ特惠待遇ヲ要求スル旨ノ提議ヲ爲シタル趣新聞紙上ニ發表セラレタリ

英、「シドニー」、「ケープタウン」、「カルカッタ」ヘ轉電シ晚香坡ヘ暗送セリ

415 昭和7年8月18日 在カナダ德川公使より 内田外務大臣宛(電報)

オタワ英連邦經濟會議の終了期日延期と各委員會の報告について

オタワ 8月18日後発  
本省 8月19日後着

第九五號

英帝國經濟會議ハ主トシテ露國「ダンピング」問題ニコタワリ十八日終了ノ豫定ヲ二十日ニ繰延ヘタリ通貨委員會、外國貿易關係委員會及關稅委員會ノ報告及要領公表セラレタルカ

(一)通貨委員會報告ハ卸賣値段ノ世界的恢復ノ急務ナルコト及右ニ關シテハ有力通商國間ノ一般的協定ヲ要スルコトヲ高調シ尙通貨政策ノ重要目的ハ國際通商ニ於ケル標準貨幣單位ヲ再ヒ設定シ以テ爲替ノ安定及國際取引金融ノ圓滑ヲ恢復スルニ在リ英帝國ノ或國ハ右標準貨幣單位ニ關シ最モ望マシト認ムル一定ノ意見ヲ有スルモ近ク國際會議開催セラルルニ顧ミ此ノ際「レコメンデーション」ヲ爲スコトハ之ヲ差控フヘシト爲シ尙物價恢復ニハ通貨政策ノ外他ノ諸案件ヲ國際的ニ改善スルヲ必要トスルモ英帝國限リニテ爲シ得ヘキ事項トシテ英國代表ハ低利ノ短期資金ヲ豊富ニ供給スルコトヲ有效ナリト認メ右ニ關シ英國ノ既ニ實行シ來レル政策ヲ引續キ遂行スヘキ旨ヲ

要および諸決議声明の公表について

オタワ 8月20日後発  
本省 8月21日前着

第九七號

英帝國經濟會議ハ二十日公會ノ閉會式ヲ行ヒタリ會議開會以來ノ經過概要及諸決議聲明ハ同日一括公表セラレタリ(重要ナル諸點別ニ電報、委細郵報ス)

尙英國ト各自治領間及各自治領相互間個別的ニ通商協定成立シ閉會式迄ニ案文確定セルモノハ式場ニ於テ當事國代表ノ調印ヲ了シタリ會議ハ右諸協定ヲ「テーク、ノート」シ且當該諸國政府ニ之ヲ推薦スル旨ヲ決議シ居レル處協定各全文ハ當該諸國議會ニ提出セラルル迄公表セス或程度迄要領公表セラル可キ模様不取敢

英、「シドニー」、「カルカタ」、「ケープタウン」、晚香坡、米ヘ轉電セリ

417 昭和7年8月21日

在カナダ徳川公使より  
内田外務大臣宛(電報)

オタワ英連邦經濟會議で採択された諸決議の

聲明シ自治領モ出來得ル限り右ト同シ政策ヲ採ルヘキコトヲ勸奨シ居レリ

(一)外國貿易關係委員會報告ハ

(イ)英國ハ露西亞ト特ニ指定セサルモ「ダンピング」ニ對シ有效ナル措置ヲ講スヘク

(ロ)英帝國內諸國ハ英帝國特惠關稅制度ニ抵觸スル如キ條約ヲ今後外國ト締結セス又既ニ外國ト締結シ居ル最惠國待遇約款カ今後右特惠關稅制度ノ妨ケト爲ル場合ニハ右外國トノ條約ヲ改訂スヘキ趣旨ヲ記シ居レリ

(三)關稅委員會報告ハ會議當初英國代表ノ問題トセル加奈陀稅關ノ輸入品評價制度其他取引ヲ不安ナラシムル關稅制度ハ之ヲ改善スヘキモノナリトノ趣旨及「エムパイヤ、コンテンツ」問題等ヲ含ムモノナリ委細郵報

英、「シドニー」、「カルカタ」、「ケープタウン」ニ轉電シ晚香坡ニ郵報ス

416 昭和7年8月20日

在カナダ徳川公使より  
内田外務大臣宛(電報)

オタワ英連邦經濟會議の閉會と同會議經過概

概要について

オタワ 8月21日後発  
本省 8月22日後着

第九八號

往電第九七號ニ關シ

諸決議要領左ノ如シ

(一)貿易促進ニ關スル決議

(イ)英帝國內各國ハ各自ノ「エムパイヤ、コンテンツ」

(特惠稅率ノ摘要ヲ受クル資格トシテ商品ノ含ム事ヲ要スル英帝國的要素)ヲ至急決定スルコト(右ハ各國各自決定スヘキモノナルモ成ル可ク共通ニシ且ツ特惠關稅ノ目的ヲ害セサル様定ムルコト)

(ロ)輸出補助及爲替相場變動ニ對應スル爲ノ特別輸入稅其他ノ特別課稅ハ物價ノ一般的回復ヲ待チテ速ニ撤廢スルコト

(ハ)英帝國內諸國間ニ今回成立セル國別通商協定(特惠稅率等ノ事項ヲ含ム)ヲ「テーク、ノート」シ之ヲ當該諸國政府ニ推薦ス右協定ニ依リ英帝國內諸國ノ購買力増加セハ自然世界ノ通商ヲ振興スヘシ

(二) 關稅ニ關スル決議

輸入稅額カ不明不確定ナル如キ關稅制度ヲ避クルコト又紛議ノ防止及紛議ノ急速ナル解決方法ヲ講スルコト

(三) 外國トノ貿易關係決議

(イ) 英帝國特惠關稅ト最惠國待遇約款トノ關係ニ付英帝國內諸國ハ特惠關稅ノ妨トナル如キ條約ヲ今後外國ト締結セス外國トノ現行條約ニシテ特惠關稅ノ妨トナルモノアラハ當該條約義務ヨリ免ルル措置ヲ採ルヘク其他特惠關稅ノ活用及維持ニ付一切ノ措置ヲ採ルコト

(ロ) 近時「ダニユーブ」諸國ノ如ク同一地方ノ數國カ特惠關稅國內ノ一國ニ對シ條約上貢フ所ノ最惠國待遇供與義務ヲ無效ナラシメ得ルモノニ非スト認ム

(ハ) 最惠國待遇享受ノ權利ヲ英帝國內ノ一國ニ與ヘ居ル外國カ或ル場合ニ付右權利ノ放棄方ヲ要求シ來ル場合ニ於テ諾否ノ決定ハ當該國ノ自由ナルモ此ノ種權利ハ猥リニ放棄スヘキモノニ非ス又英帝國內ノ他ノ國ニ利害關係アル場合ハ豫メ協議スヘキコト

(四) 通貨及金融問題決議

(イ) 卸賣値段ノ世界的回復ハ最モ望マシク右ニ付手段ヲ盡

得ヘシト思料ス

(ロ) 通貨政策ノ目的ハ満足ナル國際標準貨幣單位 (International monetary standard) ヲ復活セシムルニ在リ右單位ハ爲替安定ノミナラス國際貿易及金融機關ノ圓滑ナル作用ヲ確保スヘキモノナリ右ニ付テハ國際協定ヲ要ス英帝國ノ或ル國ハ最モ望マシキ標準單位ニ關シ確定意見ヲ有スルモ近ク國際會議ニテ議セラルル問題ナルニ顧ミ此ノ際「レコメンデーション」ヲ差控フヘシ尤モ標準單位復活ニハ種々ノ前提條件有リ就中重要ナルハ各國物價ノ回復及諸國金本位制ヲ破壞セル政治經濟財政金融上ノ諸原因ノ整理ナリ尙右標準單位復活ノ上ハ當該單位ノ購買力ノ激變防止ニ付國際的協力有ル事ノ極メテ必要ナルヲ認ム

(五) 經濟協力方法ニ關スル決議

(イ) 本件方法審議ノ爲即時委員會ヲ任命シ明年五月末迄ニ

スコト

(ロ) 尙右ニ付テハ國際的措置ノ急務ナルヲ認メ諸外國ト協力シタキ希望ヲ聲明ス

(ハ) 物價回復ノ爲英帝國限リニテ取り得ヘキ手段ニ付考究シタルカ其通貨政策ニ關スル點ニ付テハ世界貿易金融ノ中心タル英國カ至大ノ關係ニ立ツ事ヲ認メ英國代表ノ爲セル左記聲明ヲ歡迎ス英國政府ハ磅ノ價值昂騰ヲ希望ス其爲ニハ金ノ價格騰貴ヲ必要トス物價騰貴ハ貨幣政策ノミニテ實現スルヲ得ス他ノ要因ノ改善ヲ必須條件トス去リ乍ラ英國政府ハ低利短期資金ノ潤澤ナル供給ノ有效ナルヲ認メ英國現行貨幣金融政策ヲ繼續スヘク又繼續シ得ヘキヲ確信ス

(ニ) 自治領ハ前記英國代表聲明ノ政策ニ一致スル行動ヲ採ル事

(ホ) 可成リ廣キ地域ニ亘リ爲替相場ノ安定ヲ回復スルノ要有リ其完全ナル回復ニ付テハ後述ノ國際標準貨幣單位復活ヲ要スルモ差當リ磅ヲ基準トシテ貨幣ヲ統制スル數國家間ニ一ノ爲替安定地域ヲ作り出ス事及金對磅間ニ於ケル毎日ノ比率激變ヲ防止スル事ニ依リ相當ノ效果ヲ舉ケ

報告セシムル事 (右決議ニ對シ南阿及愛蘭代表ハ常設中央事務局類似ノ機關設置ニ反對スル旨ノ留保ヲ爲シタリ)

(ロ) 工業ニ於ケル協力ノ目的ハ英帝國內各部ニ於ケル各種工業ノ適切ナル分布及各部ノ統制的開發ヲ實現シ以テ生産及分配ノ能率増加及冗費節約ヲ計ルニ在リ依ツテ英帝國各部ニ於ケル同種工業ノ經營者及今後經營ヲ開始セントスルモノハ同業者代表ヲ通シテ互ニ協議スルヲ要ス政府ハ右協議ニ便宜協力ヲ與ヘ又一般ニ前記目的ノ爲最善ヲ盡ス事

(ハ) 尙本決議ハ工業及農業產品ノ規格統一問題及活動寫眞「フィルム」竝ニ「ラヂオ」ニ關スル件ヲ含ミ居レリ  
英、「シドニー」、甲谷陀、「ケープタウン」ヘ轉電シ、米、晚香坡ヘ暗送セリ